

## 第7節 5日目：9月9日（水）：魚津～富山 晴れ

2020年9月9日（水）晴れ、糸魚川・富山の旅の第5弾は、魚津駅から富山駅までの営業キロ25.5kmに挑戦する。本日、悪戦苦闘の中その実現が叶い、米原から直江津までの旧北陸本線353.8kmが繋がる。元北陸本線の踏破に着手したのが、2009年6月19日（金）（余呉から米原までの26.5km）なので、約11年3ヶ月の歳月を費やしての踏破となる。「何事もやりとげるのは大変だ」と強く感じる一日となった。



※いざ出発！！ 富山駅

朝、ホテルで朝食を済ませ、7時51分発の黒部行きに乗り、魚津まで移動する。本日も一昨日と同様高校生で電車は満員の状態となる。車窓から本日の道筋を確認する。本日の踏破には、山はなかったが、駅舎の間に川が横たわっていた。特に、水橋駅から東富山駅までの間にある常願寺川に跨る橋が車窓から見えない。それ故、この区間の踏破は相当負荷を要するだろうと察知する。そのようなことを考えながら魚津駅まで移動する。この駅で沢山の高校生が下車し、バス停に向かっていった。



※魚津駅

魚津駅から富山駅までの到着時刻は次の通り。

魚津（8:22）～東滑川（10:05）～滑川（11:08）～水橋（13:41）～東富山（16:35）～富山（18:15）

①魚津駅前には巣立ちの像があった。ここから電鉄魚津駅から少し行った先まで高架した鉄道に沿って歩く。主として左側を。電鉄魚津駅は高架した鉄道を潜った先（8時47分）にあった。8時55分、八幡宮で本日の安全を祈願する。8時56分、新川の土手で高架した鉄道は終了する。約30分の歩きとなった。新川を渡る八幡橋の欄干には、様々な団体名が刻まれていた。



※高架した線路下を歩く、電鉄魚津駅、八幡橋

9時3分、県道137号線（堀江魚津線）に出る。まもなく歩くと、車窓から見えた、ミラメイズにある観覧車（9時32分）前に到着する。ミラメイズの道路反対側には魚津水族館があった。平日とコロナの影響もあり、観客の姿は殆ど見えず。9時33分、これらの娯楽施設に面した、万歩計で528歩ある早月橋（早月川）を渡る。橋を渡ると魚津市から滑川市（9時42分）となる。10時1分、泊行きの電車と対面する。そして道なりに歩いた先にラッキーにも東滑川駅があった。



※ミラメイズにある観覧車、魚津水族館、早月橋



※東滑川駅とその界限

②暫く歩くと、10時42分、なめりがわウォーキングコースの看板があった。その先に樹齢200年の門松（もんまつ）があった。案内文によると、高さ16.6m、幹回り282mとあった。滑川駅には11時8分到着する。駅前の看板には、”ほたるいかと深層水のまち滑川”とあった。



※門松、滑川駅、滑川のトレードマーク”ほたるいか”

③11時50分、いいタイミングで寺家踏切近くの中華”菜香厨房”を見つけ、ランチとする。火照った疲れた体を癒してくれた。ランチで一息をついた後、回り路をした道筋から鉄道に近づく。13時21分、工事中の水橋大橋を通過する。かね七や大協薬品がある道筋を通り、水橋駅を目指す。13時32分、やっと左手にとやま鉄道の線路を見つける。そして、鉄道に沿って歩いた先に水橋駅があった。



※菜香厨房で一息、水橋大橋、水橋駅



※水橋駅、常願寺川土手をひたすら歩く！！

④13時52分、第1北陸街道踏切を横切り、鉄道の左側となる。暫く歩くと、14時2分、常願寺川の土手にぶつかる。ここから土手に沿って迂回を余儀なくされる。常願寺川を渡る橋までの所要時間は25分要する。途中、富山念法寺前（14時17分）があった。橋は万歩計で602歩あった。



※富山念法寺、土手を平すら歩く、東富山方面に繋がる橋

この迂回により、道筋を誤り迷路に入る。15時10分ヤマダ電機が近くにある道路下を潜る。15時16分、北陸新幹線下を潜る。その先で国道41号線、名古屋259km、高山94km、飛騨83kmと記した標識を見て、改めて地図を確認する。その結果、自分がとんでもないところに来ているに気付く。自分の現在位置と東富山駅の位置関係を確認しようと試みるが、ナビがうまく作動せず掌握できず。





※国道41号線の北陸新幹線を潜った先で迷いに気付く！！

後で確認したところ、東富山駅は、現在地から北西の方向にあり、直線距離で4km位のところにあった。ここから何人も方へ聞きながら、順次修正しながら東富山駅を目指す。しかし、何人もの方にお聞きするが、どこまで歩いて「とやま鉄道の線路」が一向に掌握できなかった。これが不安を増幅させる結果となった。迷いに迷って東富山駅にはやっと16時35分に到着する。水橋から東富山までの営業キロ4.9kmに約3時間要する。



※迷路に直進、線路は見えず、正面が東富山駅であるが工事中で立ち入りできず！！



※回り路を余儀なくされる、東富山駅

⑤東富山からは富山までは、多少遠回りになるが幹線道路をひたすら歩く。17時20分に雨に遭遇し、その状態が富山駅まで続く。富山駅近くの新幹線手前で、通行人の方に富山駅の方向を確認する。少し行った先で右折し、鉄道に沿って歩いた先にあるとのことであった。安堵する。岩瀬浜方面に向かう市電と対面する。そして、雨の中、富山駅には18時15分到着する。駅前で椅子に座っている若者に記念写真を撮って頂く。感謝・感激・感動の写真となった。最後の仕上げには相当の負荷を要すると改めて痛感する瞬間であった。



※富山駅への路、八田橋、富山駅

⑥ホテルで汗を流した後、三顧の礼を尽くすため漁火に出向き、マスターや東京から出張で来たという若者に旧北陸本線踏破の報告をする。楽しいひと時を過ごしたあと、マスターから「また富山に来てください」と温もりの言葉を頂き、この店を出る。美味しい魚と酒であった。



※郵便番号簿より

## 第8節 6日目：9月10日（木）：富山・立山観光 雨／曇り



2020年9月10日（木）雨／曇りの中、糸魚川・富山も旅の締めは、富山地方鉄道による**乗り鉄**による旅となる。すなわち、天気も考慮し、富山市内と富山駅から立山駅までの鉄道沿線風景を楽しむ旅となる。

本日の行程は次の通り。

①チェックアウトまでの時間を活用し、夜お世話になった漁火、だるま亭をデジカメに収める。加えて、38年間お世話になったフコク生命の富山支社もデジカメに収める。



※漁火、だるま亭、フコク生命富山支社

②朝の散歩後、朝食をとり、7時20分頃チェックアウトする。なお、荷物はホテルで預かってもらう。



※東横インホテル界限、朝の富山駅

③富山地方鉄道の富山駅で1日フリーきっぷを購入。この切符により、地铁市内電車と電鉄富山の鉄道を自由に乗り降りできる。



※一日フリーきっぷ





※地鐵時刻表と路線図

④7時58分の特急で立山駅（8時48分着）に向かう。1時間位、立山駅散策後、9時50分発の普通電車で富山駅（11時1分着）に戻る。いつか機会ができれば、営業キロ93.2 kmある地鐵を踏破したいものだ。



※地鐵富山駅



※車窓からの眺め、特急電車の車両



立山駅



※立山、立山アルペンルート（4年前を思い出す）



※立山駅、富山行き of 電車、本宮駅



※有峰口駅、橋、千垣駅



※横江駅、岩嶮寺（いわくらし）駅、寺田駅



※新庄田中駅、富山駅

⑤11時10分～12時30分、富山大学前と環状線行きの市電に乗り、富山城などを車窓から観賞する。



※富山駅、富山大学前駅



※富山大学、富山城

⑥ホテルで手荷物を貰った後、富山発 13時19分のはくたか564号で家路に向かう。新幹線内で心ばかりの祝杯をあげる。



※はくたか 564 号で祝杯！！

今回の5泊6日の旅は、天気よし、歩きよし、観光よし、酒よし、味よし、友よしで充実した中身の濃い旅であった。歩きの方も全駅舎立ち寄りの下、営業キロ 127.4 kmの踏破を無事有言実行でき、天や神、そして今回お会いした方のすべてに感謝の気持ちで一杯です。旅はいいものですね！！次回の旅が楽しみである。完

カッシー館引き続きご愛好宜しくお願い申し上げます。